

令和3年度 山日YBS山梨県ソフトバレーボール小学生大会

開催要項

- 1 目的 ・生涯スポーツの一環として、ソフトバレーボールの実践活動を、低年齢層から習慣化させるために、小学生バレーボールの普及・振興に努めるとともに、小学校におけるソフトバレーボール教材の取り扱いの定着と発展を図る。
- 2 主催 山梨日日新聞社 山梨放送 山梨県小学生バレーボール連盟
- 3 主管 山梨県小学生バレーボール連盟
- 4 後援 山梨県バレーボール協会
- 5 協賛 (株)モルテン (株)ミカサ(申請中)
- 6 期日 令和3年9月23日(木:秋分の日) ※受付開始:午前8時30分～(半日開催)
- 7 開催場所 県内各会場(3～4チームでの分散開催とする) 県内各会場
- 8 参加者 山梨県内小学校に在籍する、4年生以下の児童。
- 9 チーム編成 ①監督・コーチ・マネージャー・選手7名以内(男女混合可)引率の責任者(3名)とする。ただし、監督は指導者、コーチ・マネージャーは5・6年生児童又は大人とし、引率の責任者(3名)は大人とする。
②1団体で2チーム以上出場する場合は、監督は重複しないこと。
- 10 競技規則 ・2021年度(公益財団法人)日本バレーボール協会ソフトバレーボール小学生競技規則に準ずる。(一部山梨県小学生バレーボール連盟ルールを適応)
・服装については、特に定めないが競技に支障のないものを着用のこと。また、胸と背中に1番から7番までの番号を付けることが望ましい。
・小学2年生以下で構成される場合については、コート内に4～6人でプレーすることを認める。(平成29年度より。山梨県小連ルール)
- 11 使用球 ・(株)モルテン及び(株)ミカサのソフトバレーボール球(100g)を使用。(ビニール製)
- 12 競技方法 ・1試合は15点3セットマッチとし、どのチームも2試合行うこととする。
・審判・補助役員は各チームの5・6年生児童又は指導者が行う。
・サーブについてはアンダーサーブとし、フローターサーブ・サイドサーブ(打点が腰をこえるもの)は禁止とする。
- 13 組合せ ・山梨県小学生バレーボール連盟指導普及委員会の責任抽選により決定する。
- 14 表彰 ・各コートの1位チームを表彰する。
- 15 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記の各支部指導普及委員に申し込むこと

①山梨県小学生バレーボール連盟加盟関係チームについて(評議員会資料を参照)

支部名	指導普及部委員名
第1支部	谷 沢 亮 治
第2支部	三 井 正 文
第3支部	山土井 智 美
第4支部	深 澤 哲 也
第5支部	藤 波 靖 幸
第6支部	瀧 本 兼 一
男子支部	高 谷 久 志

※会場が使えるチームはその旨、申込用紙に記載してください。(調整して連絡します。)

※混合のチームは各支部へ申し込んでください。

②一般小学生チーム（山梨県小学生バレーボール連盟と関係なく参加する場合）

申し込み先・・・佐野友彦（指導普及委員長）宛（郵送）

〒400-0048 甲府市貢川本町 15-12サードコート 貢川本町老番館 803

※ お問合せ：Tel: 080-2152-0990

16 申込締切

令和2年 9月3日（金） ※期限厳守で必着のこと！

※各支部の指導普及委員は、9月4日（土）迄に佐野指導普及委員長に報告すること。

17 参加料

1チームにつき **1000円** ※1団ではなく1チームですのでご注意ください

18 問合せ先

不明な点は、**佐野友彦（県小連指導普及委員 Tel: 080-2152-0990）**に問い合わせ下さい。

*「問い合わせ」は、代表指導者又はチーム指導者が行うこと。

19 その他

① 新型コロナウイルスの感染防止のため、会場のガイドライン並びに、小連ガイドラインに沿って運営を行う。

・会場への入場はベンチスタッフ、選手、指導者、引率責任者（3名以内）とする。

・健康チェックカードの提出（2種類）

1 在籍校で行っている健康チェックカードのコピーまたはHPに掲載されている**チェックカード①**を指導者に提出（**指導者保管**）

2 **当日提出用の健康チェックカード②**→検温・健康チェック後、受付に提出

名簿に指名、連絡先を記入し、必ず検温・健康状態のチェックの結果を記載する。

・体温が37.5度以上有るもの、体調不良のものは入場できない。また、マスクを着用し、入退場の折は必ず、手指の消毒を行う。

・**ホイッスルは電子ホイッスル**とする。

② 大会中の傷害については、応急処置のみ行うが、その後の責任は負わない。

③ チーム構成員は、スポーツ傷害保険に加入していること。

④ 新型コロナウイルス感染防止のため飲食は禁止する。熱中症防止のため、必要な水分補給は認めるが、ゴミや缶類は各チームの責任において必ず持ち帰ること。

⑤ チーム構成員及び引率責任者（1名）はベンチに入り、引率責任者（2名）はギャラリー一席または、自チームのコート後方でビデオ撮影等は許可する。

⑥ 各チームは、ネームプレートを用意する。（自作のもの）

（チーム名は所属チームが分かる。長くならない。（7文字程度）

例：○里垣ドリーム ×バボちゃんズ ×南部スペシャル火の子ちゃんズ

⑦ベンチスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）は、「マーク」をつけること。（手製のもので可）また、引率責任者（3名）もネームプレートに「引率責任者」と記載し、周囲から見えるところに掲示する。

⑧ 各チームスタッフは、各会場の監督会議に必ず参加し、会場準備、運営に協力する。

⑨忘れ物が無いように十分注意する。

⑨ 外履きはチームでまとめて管理する。（玄関には置かない！）

⑩ 今年も、JVAの事業である「2021年度都道府県小学生バレーボール啓発事業」の一環として開催する。

⑪ この開催要項のほかに、別紙【競技要項】を必ず熟読してください。



つづく **【競技要項】あり！※（必ず読んでください）**

競 技 要 項

- 1 日 程
- 役員集合・準備 … 午前8時
- チーム集合 … 午前8時30分
- 受付にて健康チェックカード②の提出・参加費徴収
- 監督打合せ(全) … 午前8時40分監督、指導者参加
- プロトコール … 午前9時04分
- 競技開始 … 午前9時15分
- 表彰式 … 各コート競技終了後(コート表彰とする)
- (※ 午前中の開催とし③密を避けるため会場内では昼食は食べない。)
- 2 競技規則
- 2021年度 (財団法人)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール(小学生)競技規則を用いる。(一部山梨ルールを適応)
- ・コートのおおきさ … 13.4m×6.1m (バドミントンコート)
 - ・ネットのおおきさ … 1.8m
 - ・フリーポジション制
 - ・ラリーポイント制(15点)
 - ・フローターサーブ、サイドサーブ(打点が腰をこえるもの)等は禁止とする。(山梨ルール)
 - ・通常4人制だが、小学2年生以下で編成するチームは4～6人制を認める。
- 3 競技方法
- ・3チームのリーグ戦または4チームのリンク戦とし各チーム2試合とする。
 - すべてのチームが1勝1敗の場合は下記の順位決めを適用する。
 - 4チームの場合、2勝が2チームの場合1セットのみの順位決定戦を行う。
 - ・15点・3セットマッチとし、どのチームも原則2試合ずつ試合を行う。
 - ・デュースの場合、2点差をつけるか、17点先取のチームを勝ちとする。
- 4 試合順序
- ・競技組合せ表に記載の丸数字を各コートの試合順とする。
- 5 競技について
- 1)順位決めについて、同じ勝敗の場合
 - a)セット率の大きいチームを上位とする。
※ セット率(総得セット ÷ 総失セット)
 - b)さらに同率の場合は、得点率の大きいチームを上位とする。
※ 得点率(総得点数 ÷ 総失点数)
 - 2)公式練習は、全試合とも合同で5分間行うこととする。
 - 3)各セット8点で給水のためのテクニカルタイムアウト(30秒)を取る。
 - 3)昼食はとらない。
 - 4)試合球は、モルテン社及びミカサ社のビニール製で日本バレーボール協会制定の重さ100g、円周78±1cmのものを使う。
- 6 競技運営
- ・審判・補助役員は各チーム付きの5・6年生の子ども及び指導者が運営する。
(監督、コーチ、マネージャーは、マークをつける)
 - ・各コートの審判については、空きのチームで協力して行う。
電子ホイッスルを使用する。
 - ・ゲーム中コートサイドには、ベンチスタッフ(監督、コーチ、マネージャー)と選手・引率責任者(1名)以外は立ち入ることができない。それ以外の関係者は、2階席または試合をしているコートの後方で待機する。(試合の運営に支障がないよう

留意するとともに新型コロナウイルスの感染予防のため離れて、声を出さない。
引率責任者はビデオ撮影等を行うことができる。)

- 7 表彰
- ・各コートで1位のチームを表彰する。
 - ・1位チームには賞状と盾、ボールを授与する。
- 8 その他
- ・競技に支障がないものを着用すること。また、胸と背中に1番から7番までの番号を付けることが望ましい。
 - ・チーム名プレートは各チームで用意すること。(7文字程度以内)
 - ・小連のガイドラインにより、新型コロナ感染防止を徹底すること。

※主なルール

- ・コート…バドミントンのコート(外側のライン)
- ・ネットの高さ…1.8M
- ・ボール…モルテン社及びミカサ社のビニール製100g球
- ・4年生以下4人による(混合可)フリーポジション制。ただし2年生以下で構成される場合は4～6人によるフリーポジション制とする。
- ・ラリーポイント15点制、3セットマッチで行う。最高17点まで。
- ・6人制ルールに準ずるが、ブロックのオーバーネットは反則となる。
- ・サーブは、ショートサービスラインより後方で行う。アンダーサーブとする。それ以外は反則とする。ボールのヒット位置は腰の位置より下(山梨ルール)。
- ・ネットインサーブは、反則となる。
- ・ベンチスタッフ全員マークをつける。
- ・熱中症対策：各セット8点で給水のためのテクニカルタイムアウト(30秒)を取る。

※コントローラーの役割

- ・各コートに配置され、審判やゲームをコントロールする。
- ・特に試合終了から次の試合の回しつけをスムーズに行う。
- ・試合結果をプログラムに記録し、結果をFAXで理事長に送る。
理事長(飯窪俊貴)：FAX 055-284-0418

※引率責任者(3名)の役割

- ※各チームで用意するネームプレートに「引率責任者」と記載し、周囲から見えるよう掲示する
- ・選手の送迎を行う。
- ・1名はベンチには入ることができる。(ベンチ内の消毒、緊急時の対応のため。)。ベンチ内の消毒(選手・ベンチスタッフ・用具等)
- ・2名は2階席または自チームコートの後方で試合に支障がない範囲で記録、ビデオ撮影等を行うことができる。
- ・選手の熱中症予防のための水分等の手配をする。

